

## 須崎 遼真

僕は夏休みに陸上の練習を頑張りました。中学生になると、部活動の他に陸上の練習もあることは兄から聞いて知っていました。僕は、1年生の選手に選ばれたので、部活動の前に陸上の練習にも参加することになりました。

練習を始めた頃は、とてもきつくて、しばらく走っているとお腹が痛くなりました。走ることができずに、歩いてしまうこともありました。

お腹が痛くて歩いている時に、友達を見ました。その友達はしっかりと走っていました。友達の頑張っている姿を見て、「自分だけ歩いていたのでは、自分は力がつかない」と思いました。そして、その友達の後ろについて最後まで走ることができました。その時は、いつもよりうれしかったです。

陸上大会ではどの種目に出場するのかは決まっていなくても、せっかく夏休みの練習に耐えてきたのだから、自分の力を出し切りたいと思っています。

陸上の練習を通して、あきらめずに頑張ることの大切さを学びました。部活動の野球でも、学校の勉強でもなんでもあきらめずに頑張りが続けることが大事だと思います。

2学期がスタートしました。校長先生がお話の中で「一生懸命は最低条件、迷ったらきつい方を選べ」と話されました。2学期はたくさん学校の行事もあるし、どんどん挑戦していきたいです。